

国語

I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4) 各領域において、言語活動を通して資質・能力を育成できるような内容・構成になっているか。 A 話すこと・聞くこと B 書くこと C 読むこと
	(5) 我が国の言語文化に関する指導の充実を図ることができるよう工夫されているか。
	(6) 読書活動に結び付くよう工夫されているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長	
共通 観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特徴をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

Ⅲ 具体項目

観点	発行者	東 書	教 出	光 村
<p>1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 教科の特質に於いて、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生活における様々な課題について主体的に考えたり他者と協働して解決に取り組んだりする学習活動や、社会の現状や在り方について考察したり考えを述べたりする学習活動を系統的に設定することで、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を育成することができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会の中で、「共に生きていく」視点や互いを尊重し合える心をもったり、自らの未来に展望を広げたりすることができるよう教材化を図ることで、自他の敬愛と協力を重んずる態度や、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を育成することができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生命や自然について書かれた文章を読んだり、環境問題に対する自分の考えをまとめたりする活動を設定することで、生命や自然に対して畏敬の念をもつと同時に、生命を尊重し、自然を大切に心や環境保全に寄与する態度を育成することができるよう配慮されている。
	<p>(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を</p>	<ul style="list-style-type: none"> 5年「和の文化を受けつぐ」「和語・漢語・外来語」では、カステラが取り上げられている。 6年「模型のまち」「ヒロシマのうた」は、広島原爆が題材として取り上げられ、「世界は必ず変えられる」では核兵器廃絶についての記述があり、長崎の歴史について理解を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 4年「ウミガメの命をつなぐ」では、本県長崎市の新三重漁港が取り上げられている。 6年「川とノリオ」は広島原爆が題材であり、同じ被爆県というつながりがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 4年「カンジーはかせの都道府県の旅2」では、「長崎県ではちゃんぽんがよく食べられる。」という文が掲載されている。 5年「たずねびと」と6年「平和のとりでを築く」は、広島原爆が題材であり、同じ被爆県というつながりがある。

Ⅲ 具体項目

観点	発行者 東 書	教 出	光 村
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されている</p> <ul style="list-style-type: none"> 文法と語彙それぞれに特化した教材として「言葉相談室」を設け、キャラクターによるエラーモデル等から導入を図ることで、学習課題を見出しながら、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得できるよう工夫されている。 2年以上の各学年に年3回の「情報の扱い方」に関する小単元を設けることで、学年に応じた情報の扱い方の基礎が確実に習得・定着できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 系統的・重層的に繰り返し学習ができるよう、漢字を学習する教材として「漢字の広場」を、言葉を学習する教材として「言葉の広場」を各学年に設けることで、漢字の読み書きや言葉の理解が確実に習得できるよう工夫されている。 巻末に「情報のまとめ」や「学ぶときに使う言葉」として、学習内容や用語を簡潔に示すことで、既習事項を振り返りながら、基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の学習では、言葉そのものを対象化して知識を得たり考えたりする特設単元を位置付けることで、言葉の世界の豊かさを実感しながら、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得できるよう工夫されている。 2年以上の各学年に年2回の情報に関する教材を設定することで、単元と密接にかかわらせながら、情報どうしの関係性について理解したり、情報の整理の仕方を身に付けたりすることができるよう工夫されている。
	<p>(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されている</p> <ul style="list-style-type: none"> 目次や単元扉で各題材の重要指導事項を示すとともに、それに即した具体的な言語活動を設定し、活動の目的や意図、条件に沿った課題解決的な学習を進めることで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 思考を言語化して整理したり深めたりしながら考えを形成する手立てとして、ノートやメモ、カードや図表、対話等の例を随所に提示することで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」教材の主要な単元には、「学習のてびき」が設けてあり、学習過程における児童の反応例を示し、自分の考えを見直したり深めたりしながら学習を進めることで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 「話す・聞く」の単元で、互いに助言し合う際の視点や、活動後に感想を交流し、自己評価・相互評価する視点を設けるなど、学び合いを重視することで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2年以上の巻頭「どうやって学んでいくのかな」のページに、考えや学びを深めていくための学習の進め方を視覚的に提示することで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 2年以上の全ての巻末折り込みに、「図を使って考えよう」を設け、情報を整理する方法や、整理した情報を伝えるときの言葉を確認することで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。
	<p>(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付く</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭において一年間で学習する「言葉の力」を、巻末においては領域・系統ごとに「言葉の力」を示し、前学年の「言葉の力」を併せて確かめることで、学びのつながりを実感することができるよう工夫されている。 「言葉の力」を獲得するための「見通す」「取り組む」「振り返る」の三つのステップで学習過程を示すことで、学習の全体像をとらえやすく、見通しをもって学習を進めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材において、児童にとって必要感のある課題を設けることで、多様で活発な言語活動に主体的に取り組む態度が身に付くよう工夫されている。 巻末で学習したことを振り返る機会を設けることで、学んだことや身に付けた言葉の力に気づき、実生活に生かしていこうとする意欲を高められるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「問いをもとう」と「目標」を設けることで、児童の問いを引き出し、一人一人の問いを学習の目標へとつなげ、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。 3領域の単元末や「言葉」の教材の末尾に設定されている「いかそう」に、言葉の力を他教科の学習や日常生活に活用する視点を明示することで、主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されている。

III 具体項目

観点	発行者	東 書	教 出	光 村
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(4)</p> <p>A 「話すこと・聞くこと」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「対話する」「話を聞く」「話し合う」「くふうして話す①」「くふうして話す②」の5系統の単元の学習を通して、目的や条件に応じて、話す聞く能力を身に付けられるよう工夫されている。 ・使う言葉や態度、話の組み立て方や資料を活用した説明の仕方などにおいて、具体的なモデルを示すことで、話す聞く能力を身に付けられるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実生活に結び付いた活動になるよう、日常生活や学校生活に関連した教材や題材を設定することで、話す聞く能力を身に付けられるよう工夫されている。 ・「日常化を図る系列」「スピーチ系列」「話し合い系列」「説明・報告系列」の四系列を計画的・系統的に学習できるよう単元を構成することで、話す聞く能力を身に付けられるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年以上において「言葉の準備運動（アイスブレイク）」「耳を傾ける（受けて返す・聞く）」「対話の練習」「話し合う」「声を届ける（話す）」のそれぞれの言語活動を配置することで、話す聞く能力を身に付けられるよう工夫されている。 ・言語活動に必要な感、必然性のある話題を系統的に配置し、単元の見通しや単元末には振り返りを設定することで、主体的に学習に取り組み、話す聞く能力を身に付けられるよう工夫されている。
	<p>B 「書くこと」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「説明文」「物語、短歌、詩」「手紙」「レポート」「パンフレット」「意見文」「文集」等、目的や相手に応じて書く言語活動を設定することで、書く能力を身に付けられるよう工夫されている。 ・書くための材料として複数の資料を示して情報を比較・分析したり、「読むこと」で身に付けた「言葉の力」を「書くこと」の学習に生かすことができるように関連付けたりすることで、言語活動を通して書くことに慣れ親しみ、書く能力を身に付けられるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「手紙」「日記」「新聞」「ポスター」「パンフレット」「報告文」「観察記録文」「意見文」等、多様な言語活動を取り上げた教材を設定し、他領域等との関連を図ることで、書く能力を身に付けられるよう工夫されている。 ・組み立てメモや推敲の段階などで、感想を述べ合ったり、助言し合ったりして、自らの表現内容を見直す視点を示したり、学習後に感想を交流し自己評価・相互評価をする機会を設けたりすることで、書く能力を身に付けられるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「手紙」「日記」「観察記録」「調査報告」「紹介」「提案」「創作」などの多彩な言語活動を系統的に設定することで、書く能力を身に付けられるよう工夫されている。 ・学習の積み重ねを実感できるよう、指導事項を焦点化した小単元「書くときにつかおう」を2年以上に設定することで、当該小単元で身に付けた力を他の単元で生かすとともに、書く能力を身に付けられるよう工夫されている。
	<p>C 「読むこと」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の初めに言語活動を明らかにしたり、児童に考えさせたい内容を吹き出しにして問いかけたりすることで、児童の意欲を高めながら読む能力を確実に身に付けられるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の手引において、目標及び学習過程を明確に示したり、学習のポイントや言語活動を行う上での参考となる関連図書を掲載したりすることで、読む能力を確実に身に付けられるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文では、論理的に表現された文章を適切に読み、自分で考える学習を重ねるとともに、その学習で得た力を生かせる場を設定することで、読む能力を確実に身に付けられるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

観点 / 発行者	東 書	教 出	光 村
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	(5) 我が国が国語文化に親しむことができるよう工夫されているか。 ・伝統的な言語文化に触れたり、言葉の由来や変化について学んだりする単元・教材を全学年に系統的に配置することで、伝統的な言語文化に親しめるよう工夫されている。 ・2年以上に「季節の足音」を設けることで、四季に応じた詩や俳句・短歌に触れることができるよう工夫されている。	・古典作品に触れたり、季節の風物や言葉遊びなどにかかわる教材を系統的に配置したりすることで、伝統的な言語文化に親しむことができるよう工夫されている。 ・高学年には、言葉の変化や由来についての教材を設けることで、伝統的な言語文化に親しむことができるよう工夫されている。	・言葉遊びや古典作品など、全学年に言語文化にかかわる教材を配置することで、我が国の言語文化に親しむことができるよう工夫されている。 ・2年以上に「季節の言葉」を設けることで、四季にかかわるさまざまな風物・詩・童謡・俳句・短歌等に触れることができるよう工夫されている。
(6) 読書活動に結び付くよう工夫されているか。	・「図書館へ行こう」では、目的に応じた図書館利用の基礎を掲載するとともに、読書記録を例示し記録していくことを促すことで、読書活動に継続的に取り組めるよう工夫されている。 ・読書マップ作りなどの読書活動に加え、本の一部を掲載することで、読書への関心を高められるよう工夫されている。	・上巻には、学校図書館を計画的に利用し、その機能の活用を図る「情報読書」教材を、下巻には、図書館の紹介を中心とした交流活動を行う「交流読書」教材を設定することで、どの学年も、年間を通して本に触れる機会が保証され、読書の日常化を促すよう工夫されている。 ・夏休み前に図書紹介のコーナーを設けることで、読書意欲を喚起できるよう工夫されている。	・図書館活用を図るための教材を設けることで、日常的な図書館利用を促し、目的に合った本の見つけ方や調べ方を身に付けるとともに、読みたい本・必要な本を思い描く力を高められるよう工夫されている。 ・長編文学やノンフィクションなど、多様なジャンルの読み物を、読書活動と関連付けて掲載することで、どの学年も楽しみながら読書に取り組めるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

観点	発行者	東 書	教 出	光 村
<p>3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長</p>	<p>(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記事内容となっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読み継がれる名作や現代的視点で書かれた作品などをバランスよく取り上げたり、複数の資料を関連付けて読む教材を取り入れたりすることで、豊かな記事内容になるよう配慮されている。 ・単元末や巻末の付録に各単元の学習の補助や振り返り、学んだことの活用や発展に資する教材や資料を取り入れることで、豊かな記事内容となるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明的文章では、自然現象や動植物への理解を促す教材、論理的思考力を育てる教材など、学年にふさわしい話題・題材を取り入れることにより、豊かな記事内容になるよう配慮されている。 ・「学習のてびき」の中の「言葉」「言葉を増やそう」、巻末付録「言葉の木」では、発達段階に沿った様々な言葉を記載することで、豊かな記事内容となるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年下巻以降の「言葉の宝箱」には、「気持ちや考えを表す言葉」などを数多く記載することで、豊かな記事内容となるよう配慮されている。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」および「読むこと」の手引は、上段と下段の性格付けを明確にし、どこを、どう読み、何が大切なのかを分かりやすく記載し、例を具体的に提示することで、豊かな記事内容となるよう配慮されている。
	<p>(2) 写真、挿絵、図表などに、学習内容との関連や学習効果を高める配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」の単元導入において、挿絵や写真をダイナミックに配置することで、教材への興味や学習意欲が高まるよう配慮されている。 ・学習内容に関連する資料を豊富に掲載したり、説明の理解を補助するための事例や図表を随所に示したりすることで、学習効果が高まるよう十分配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵・図版・写真は、学習上必要なものを十分に取り上げることで、学習意欲や学習効果が高まるよう配慮されている。 ・「見通しをもとう」では、学習過程に関連付けた図表やイラスト、吹き出しを用いることで、学習場面や内容を想起しやすくなるよう十分配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や写真と文章を対応させながら読む教材を各学年に配置することで、絵・写真から読み取ったことをもとに考え、話し合う学習が行えるよう配慮されている。 ・学習上、複数の情報の識別が必要な図版については、色の組み合わせや色調、形で区別ができるようにするとともに、文字と写真、写真と写真との区別が明確になるよう配慮されている。
	<p>(3) レイアウトや色彩、紙質、文字の大きさに、挿絵の活用、適切に配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大型の写真や挿絵が多く、単元冒頭には、領域を示すインデックスを付けることで、単元の始まりのページが開きやすくなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年において、上下巻の二分冊とすることで、ゆったりと読みやすい紙面になるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すっきりとしたレイアウトで、図版については、色の組み合わせだけでなく、マークを付して区別ができるようにすることで、大切なことが一目で分かるよう配慮されている。